

NEXCO西日本 新名神大津だより

I N F O R M A T I O N ①

事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と適切な交通機能を分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。新名神大津事務所では、滋賀県域の12.2 kmを担当しています。



進捗状況

用地取得は、9地区が完了し、3地区で実施中です。進捗率は約9割。埋蔵文化財調査については、8割以上が完了しています。新名神(滋賀県域)では、牧、中野、里・関津地区においては工事用道路工事に着手し、更に牧地区においては、本線工事に着手しています。

大津市南部の自治会で形成される大津市南部三学区新名神対

策協議会においても、早期着手気運醸成があり、安全に留意し、開通を目指して、行政・地域と一体となって事業を進めています。埋蔵文化財調査は、地権者の皆様と文化財関係部署のご協力を頂き進めています。

また、地域の皆様との交流を図るために地域イベントに積極的に参加し、高速道路事業のPR活動を行っています。

◆各地区の進捗状況(平成30年6月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定

区 間		大津JCT～滋賀県域(12.2km)											
工事区		大津大石工事区(5.8km)				大津田上工事区(3.9km)					大津上田上工事区(2.5km)		
学区名		大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)					上田上学区(2.5km)		
自治会名(km)		小田原町 2.1km	龍門町 2.4km	中町 0.4km	東町 1.5km	関津 1.0km	里 0.3km	枝町 0.7km	森町 0.5km	羽栗 0.8km	新免 0.4km	中野町 0.9km	牧町 1.2km
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	96	◆	◆	◆	◆※	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得		89	100	100	100	22	100	100	77	100	100	100	75
埋蔵文化財調査		—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◆
工事着手	本線	2											◇
	工事用道路	—				—	◇	◇		—	—	—	◇

※境界未確定地を除く

工事の状況



※この図は、航空写真・図面等により作成したイメージです。完成と異なることもあります。

3 笹間ヶ岳工事



工事用道路施工中(起点方面)



工事用道路施工中(終点方面)

1 牧工用道路工事



施工状況(航空写真)



舗装施工済み(市道幹2020号線の拡幅)



工事用仮橋を施工中

今回は「上田上牧工事」を担当するみらい建設工業の吉谷直樹さんに進捗状況を聞きました。

「工事の特色(概要)を教えてください。」
 「牧地区を流れる大戸川をはさみ左岸側(中野町側)では、工事用道路約500m、本線内盛土区間約300mの工事を行います。また右岸側(桐生町側)では、工事用道路約200mと、大戸川橋(仮称)を架けるための仮橋約720mを施工。現在、伐採が完了し、土砂の流出を防ぐ堰堤(えんてい)や調整池の施工が進行中です。」
 「完成に向けての豊を聞かせて下さい。」
 「この5月からいよいよ本格的な工事に入りました。土木の仕事をする上で忘れてはならないのは、地域住民の暮らしに影響を与えないこと。そしてそれは地域住民の協力なくしてはありえません。積極的に地域の交流に参加し、住民の方々と一体感を持って工事に取り組みます。」
 「工事現場は起伏に富んだ地形で難工事が予想されますが、持てる技術力を駆使して、安全に、高品質のものをつくるよう努力して参ります。具体的には、橋の土台となる下部工事への早期引き渡しが目標です。」

インタビュー INTERVIEW



新名神高速道路 上田上牧工事 現場代理人 吉谷 直樹さん

2 上田上牧工事



大戸川上空付近から大津JCT方面



大戸川上空付近から田上方面 場内道路を施工中

工事現場に園児の絵画展示

大津市田上学区の地域にお住まいの皆様へ、新名神事業に親しみをもっていただき、事業に対する理解を深めて頂くとともに、地域の子供達にも喜んでいただけるよう、大津市立田上幼稚園の協力を得て、幼稚園児達が製作した絵画作品を新名神高速道路完成予想図に配置してパネル化し、工事用道路の工事現場の仮囲いに設置しました。

3月2日(金)に園児及び保護者を招いて実施したパネルのお披露目は、天候にも恵まれ、大津市立田上幼稚園児45名、保護者約30名、先生5名の約80名の皆様に参加いただきました。

パネルがお披露目されると園児や保護者から「自分の描いた絵があったよ」「うまく描かれているね」などの喜びの声があがりました。また、建設機械の試乗・写真撮影も同時に開催し、多くの園児が建設機械に試乗し、普段乗れない建設機械の操縦席を楽しんで頂きました。

当日の様子は、テレビや新聞にも取り上げられ、地域の皆様へ新名神事業について広く知っていただくよい機会になりました。今後も地元住民の方に喜んでいただけるようなイベントを実施していきたいと思っております。



上田上牧工事の安全祈願祭

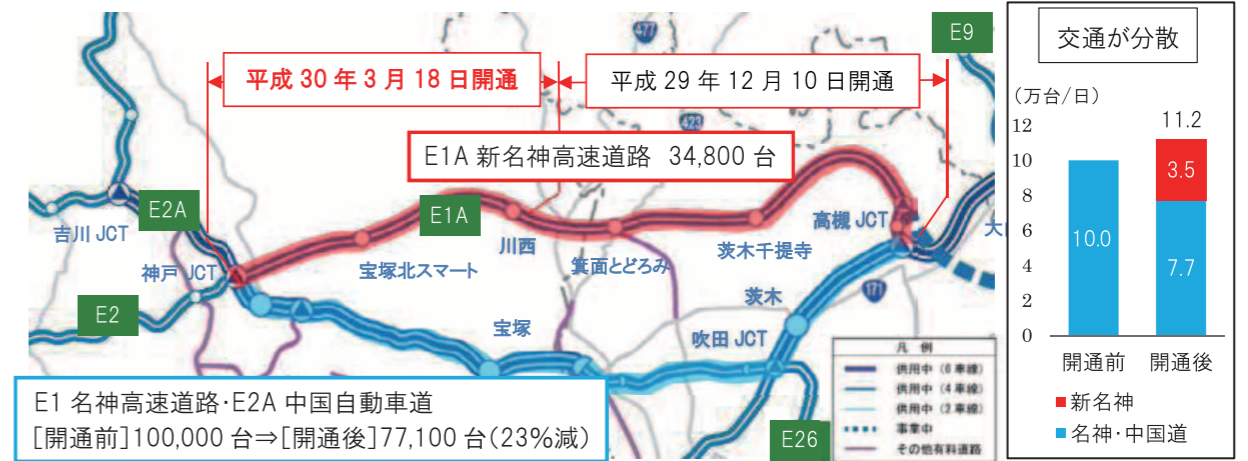
5月28日(月)に、「新名神高速道路 上田上牧工事」の安全祈願祭が牧町八幡神社で行われました。当日は、受注者、NEXCO西日本の社員、施工管理員、新名神対策委員会役員、牧町自治会長等の総勢23名が参加し、工事の安全を祈願しました。



E1A新名神(高槻JCT・IC～神戸JCT)開通に伴う効果

E1A新名神高速道路の開通による交通分散によって、並行するE1名神高速道路、E2A中国自動車道(高槻JCT・IC～神戸JCT)の渋滞回数は9割減少しました。また、ピーク時の平均所要時間も短縮しました。大規模な渋滞が発生していたE2A中国自動車道宝塚トンネル付近の渋滞を回避できるようになりました。なお、ゴールデンウィーク期間中においても、交通分散により、同区間の10km以上の渋滞回数が減少しました(平成29年GW:18回→平成30年GW:9回【5割減少】)

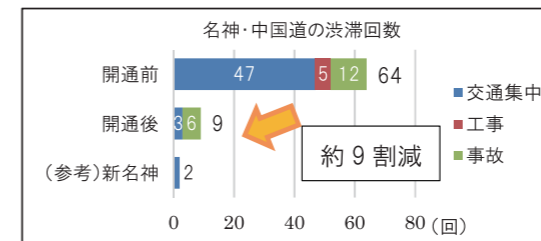
1. 開通区間の本線交通量 ※開通1ヶ月後の交通状況



※本線交通量は、交通量計測装置による速報値(加重平均)

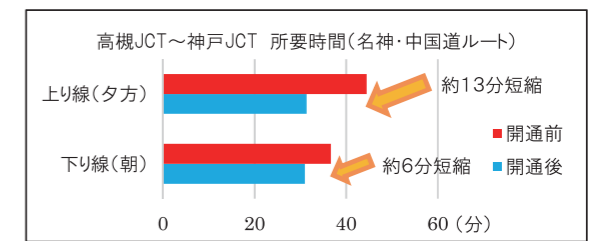
開通前:平成29年3月20日(月・祝)～4月19日(水)、開通後:平成30年3月19日(月)～4月18日(水)

2. 開通区間周辺の渋滞



※渋滞回数:速度40km/h以下の状態が、1km以上かつ15分以上継続した状態で最大渋滞長が5km以上を集計

3. 高槻JCT～神戸JCT 所要時間(ピーク時)

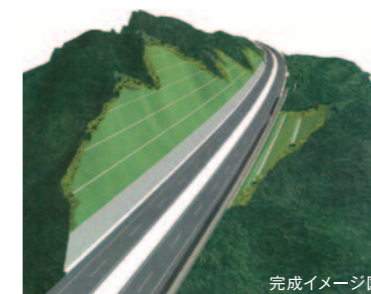


田上山の緑の保全への取り組み

「新名神高速道路田上山のり面対策検討会」を3月20日(火)に開催し、緑が復元された田上山に配慮した道路構造について検討を行いました。

学識経験者の意見を踏まえ、道路建設による改変面積を縮小する対策や、地域に自生する樹木で道路を緑化することなどの施工方針が決定されました。

この施工方針に基づき、着実に工事を進めてまいります。



連絡調整会議の開催

4月18日(水)に、「第14回新名神高速道路事業連絡調整会議」を開催し、新名神高速道路建設事業の課題・問題点等を解決するために、関係行政機関(滋賀県、土地開発公社及び大津市)と活発な意見交換を行いました。

